



2017 川の再生交流会

～流域でつながる 次世代とつなげる～

平成29年2月4日(土) 10時30分～16時(開場10時)

会場：さいたま市民会館うらわ

主催：埼玉県 協力：埼玉県河川環境団体連絡協議会(埼河連)

プログラム

午前の部：ホール 司会 県立浦和第一女子高等学校 アナウンス部

10:30 開会・オープニングコーラス - 県立松山女子高等学校 音楽部 -

10:40 挨拶 - 埼玉県環境部長 -

川の国埼玉宣言 - 学校法人佐藤栄学園 栄東高等学校 理科研究部 -

11:00 2011年度より継続している芝川の上流から下流までの調査
～少しずつ見えてきた生息生物の分布～

- 学校法人佐藤栄学園 栄東高等学校 理科研究部 -

11:20 国・県と地域の連携

①川のまるごと再生プロジェクト外、水辺再生100プロジェクト事業の報告

- 県土整備部水辺再生課/埼玉県河川環境団体連絡協議会 -

11:50 ②荒川の再生事業と川の国応援団、埼河連の連携

(ミツ又沼ビオトープと荒川太郎右衛門地区自然再生協議会)

- 国土交通省荒川上流河川事務所/荒川の自然を守る会 -

12:20 午前の部閉会

午後の部：各会議室・ホール

13:30 分科会

15:45 まとめ ※16:00 閉会



県のマスコットコバトン

分科会テーマ一覧 (13:30~15:30)

午後の部の進行は各分科会担当の応援団団体が担当します



会場	テーマ
第1分科会	綾瀬川・芝川流域分科会 テーマ『清掃活動、学習活動、水質改善排水マナー、お楽しみイベント』ほか
第2分科会	中川・古利根川流域分科会 テーマ『流域の川づくり、美化活動、農水路保全、環境学習』ほか
第3分科会	元荒川流域分科会 テーマ『美化活動、魚の保全、歴史をつなぐネットワークづくり』ほか
第4分科会	新河岸川流域分科会 テーマ『湧水を生かした川づくり、河畔林の保全、アユの川のモデルに』ほか
第5分科会	不老川流域分科会 テーマ『30年の活動を振り返る、文化と歴史をつなぐまちづくり、新しいネットワーク』
第6分科会	北部・西部（比企・秩父・本庄）流域分科会 テーマ『川づくりと環境保全（自然と心を結ぶ川づくり）』
第7分科会	学生交流分科会 テーマ『水辺（水辺をフィールドに様々な活動をしている学生主体の分科会）』



各分科会の会場については、ホールに掲示の一覧をご確認ください

ご協力いただいた団体

司会 埼玉県立浦和第一女子高等学校 アナウンス部

平成19年、アナウンス愛好会として1年生3名でスタート。翌20年に同好会となり、23年にアナウンス部となる。主な活動は、アナウンス・朗読練習、ビデオ番組・ラジオ番組の制作。

発足以来、NHK杯全国高校放送コンテストの全国大会に10年連続で出場しており、第4位優良、第5位入選、制作奨励賞などを受賞。全国高等学校総合文化祭には9年連続で出場し、三重大会、福島大会、長崎大会では優秀賞を受賞した。

美しい日本語の習得と、地域話題を全国に発信することが目標。

11月の県高校放送コンクールにおいて、朗読部門で県知事賞を、ビデオメッセージ部門、朗読部門、オーディオピクチャー部門で高文連会長賞を受賞し、今年8月宮城県で行われる全国高等学校総合文化祭「宮城総文」への出場が決まっている。また、地域の各種イベントの司会への協力も行っている。



埼玉スタジアム
2002(さいたま市)
県埼玉



オープニングコーラス 埼玉県立松山女子高等学校 音楽部

松山女子高等学校は、緑豊かな東松山市に立地し、今年で創立91周年を迎えた歴史と伝統のある女子高校。「川の国応援団」の登録団体としては、市野川を中心とした清掃活動を行うなど、地域貢献にも力を入れている。

音楽部は昭和30年頃に創部。現在は顧問の吉田みどり先生のもと140名の部員で活動中。コンクールでは数々の受賞経歴を持つ実力であり、平成28年10月には、全日本合唱コンクール全国大会において金賞・文部科学大臣賞を受賞した。クラシック曲から親しみやすいポピュラー曲までレパートリーは多岐にわたり、定期演奏会や招待演奏、各種コンサートなどの公演においても好評を博している。

「歌でつながる心と心。歌で誰もが幸せに！」
部員は学年を超えてみんな仲良し。部活動に勉強に、何事にも全力投球！！



【1】 2011 年度より継続している芝川の上流から下流までの調査

～少しずつ見えてきた生息生物の分布～

-学校法人佐藤栄学園 栄東高等学校 理科研究部-

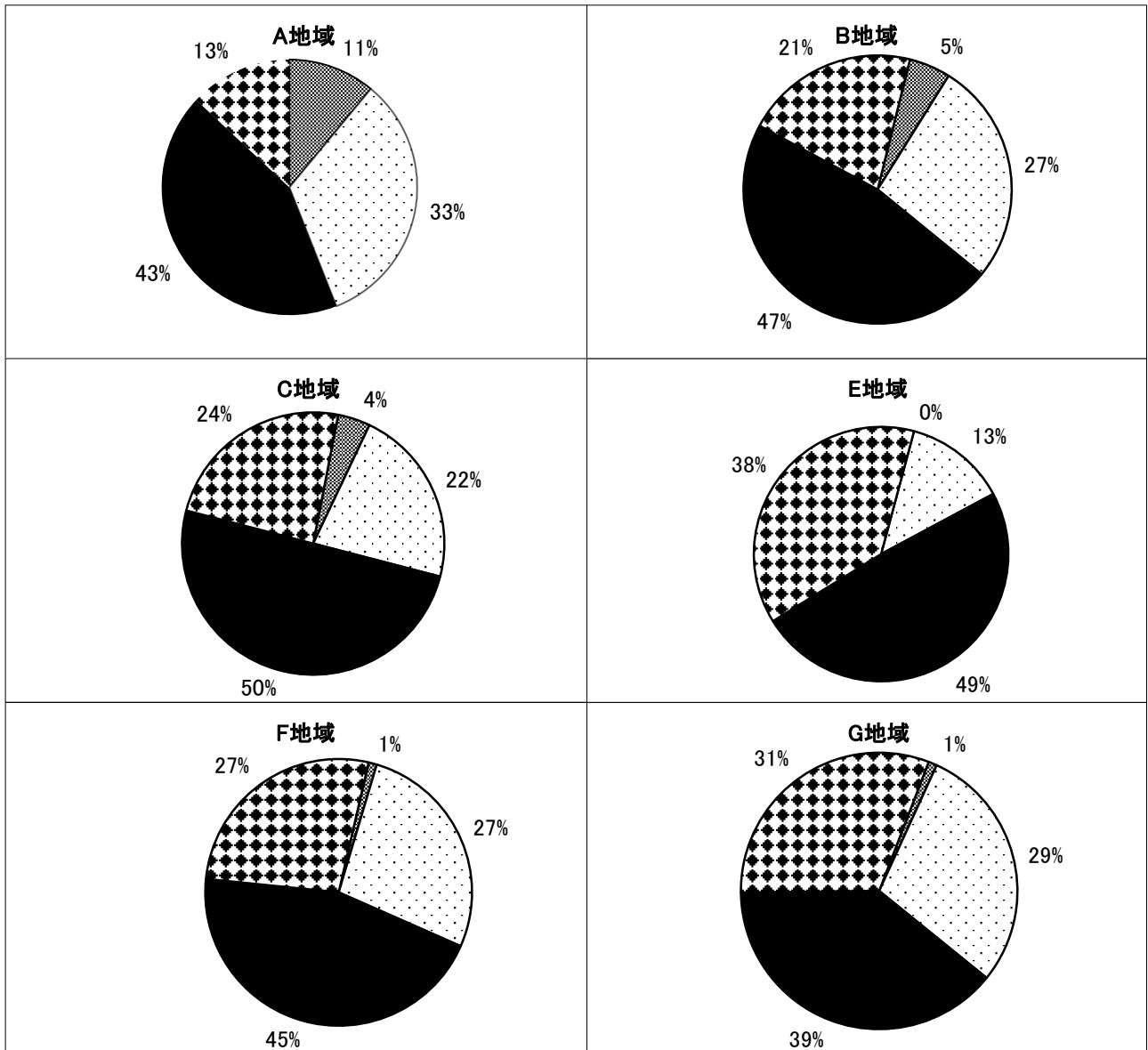
2011 年度より継続している芝川の上流から下流までの調査

栄東高等学校 理科研究部

平成 29 年 2 月 4 日

①流域住民の方々へのアンケート調査結果(2016 年 7～8 月実施)

質問：あなたの芝川に対するイメージはなんですか。




1.きれい


2.ややきれい


3.やや汚い


4.汚い


質問：あなたが芝川に求めるものをお答えください。(2つまで選択可)


 1.護岸整備等の安全性

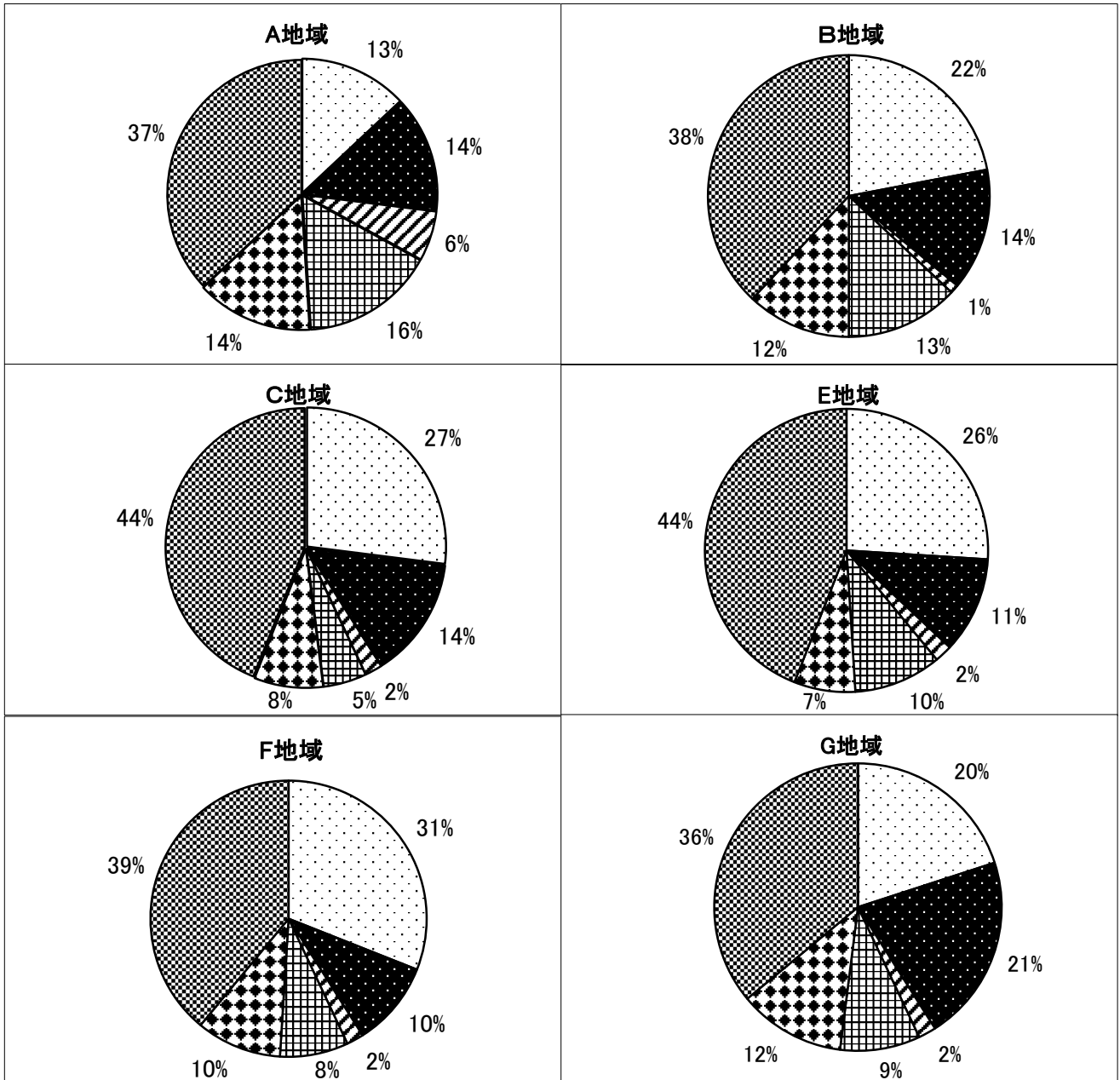
 2.水に入って遊べるほどのきれいさ

 3.普段の水量の豊富さ

 4.生き物の多様性

 5.地域の憩いの場

 6.ゴミ等がなく緑豊かな景観の良さ



②清掃活動調査のデータ詳細(2016年12月11日実施)

砂大橋(B 地域)

ビニール袋	0
食品ごみ	2
チューブ類	2
発泡スチロール片	5
ペットボトル	13
カン	16
プラスチック類	4
家電	2
ビン	2
網	1
スプーン	1
スプレー	1
タオル	3
ボール類	3
手袋	6
蛍光灯	1
紙類	7

砂橋(B 地域)

ビニール袋	8500(g)
発泡スチロール片	7
テニスボール	4
カン	78
ペットボトル	86
段ボール	3
衣料類	2
家電	10
乾電池	2
クリーム系	3
靴類	4
傘類	5
DVD	1
自転車のカギ	2
南京錠	2
眼鏡類	2
ライター	6
一斗缶	1
スポンジ	4
紙カップ	8
肥料の袋	6
たばこ	7
食品ごみ	9
マグネット	8
鉢・バケツ	13
ブラシ類	17
プラスチック類	75
ビン	41
金属片(鉄くず)	48
紙類	100
錠剤	90
スプレー缶	14
ヘルメット	2
灰皿	1
ほうき	1
はけ	1
道具箱	4
電卓	1
セルピン	1

八丁橋(E 地域)

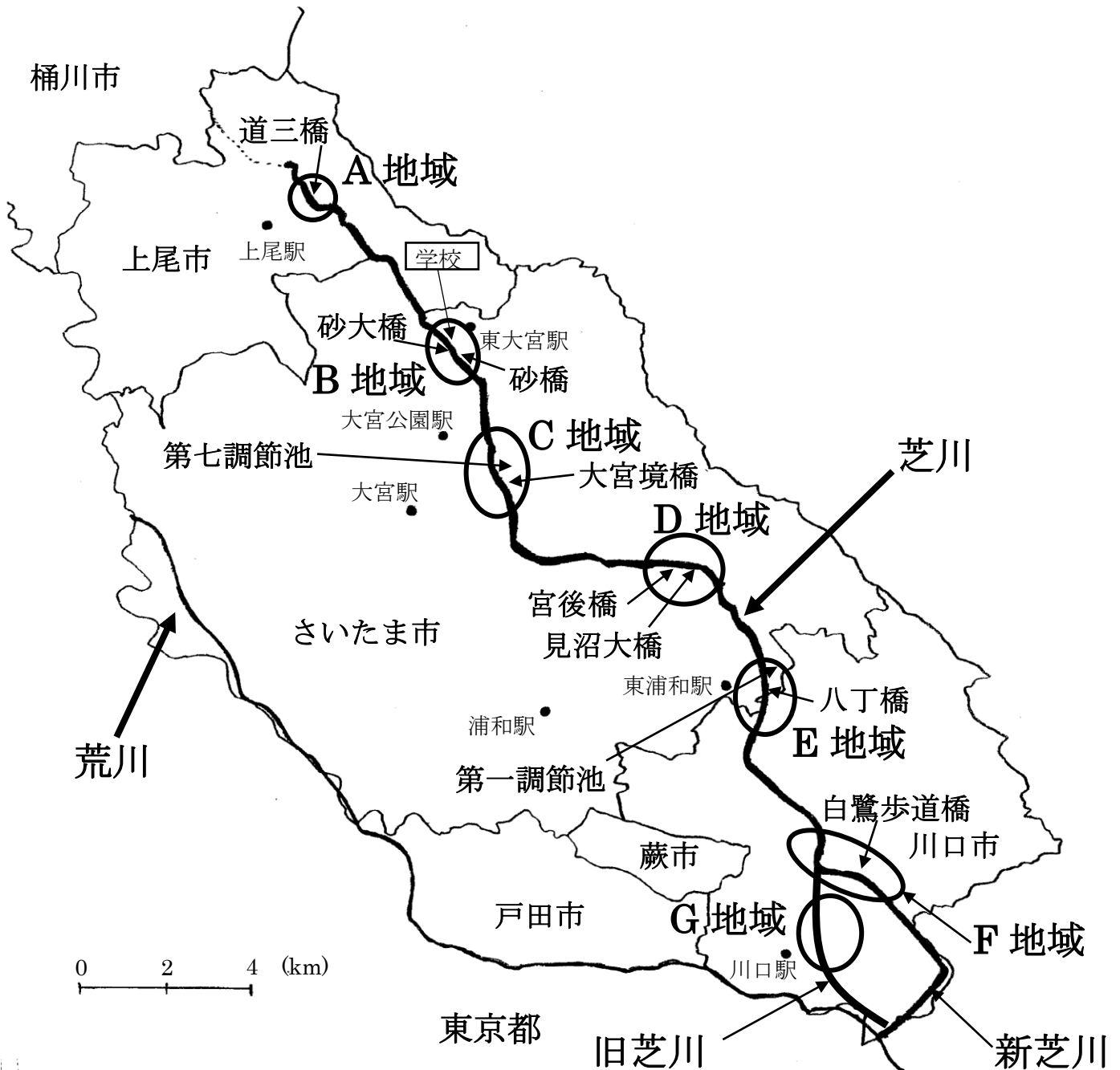
ビニール袋	750(g)
カン	97
ペットボトル	62
電池	57
ビン	41
割れた陶器	36
ガラスコップ	23
たばこ	21
フライパンのとって	9
ビニール板	6
キャップ	5
自転車のタイヤ	3
洗濯バサミ	3
靴類	12
陶器	3
保冷材	2
トタンの切れ端	3
三角コーン	2
瓦のかけら	2
針金	2
土鍋	1
自動車類	3
一輪車のタイヤ	1
すのこ	1
パトライト	1
スプレー缶	6
カセットテープ	1
パソコン部品	1
傘の骨	1
タオル	1
燃えるゴミ	2970(g)
ビデオカセット	1
プラスチック容器	12
マグネット	1
プラグ	3
ヘラ	1
発泡スチロール片	1

砂橋(B 地域)

鏡	1
ペン	3
かご・ざる	2
うちわ	1
テーブルの脚	1
空気入れ	1
アルミホイール	3
ボタン	66
ネックレス	1
髭剃り	7
畳	6
木材	5
衣装ケース	1
割りばし	7
毛糸	3
椅子	2
タイヤのホイール	2
柄付き網	1
園芸用支柱	2

単位は(個)

③芝川及び周辺の地図



【芝川の今昔】

約60年前は一面に水田が広がっていた。当時の芝川は清流と言えるほどの綺麗な川で、フナ・タナゴ・ハヤ・ドジョウ・ウナギも棲んでいて、水中めがねを着けて素潜りで魚をとれた。高度成長期の頃からか、上流から汚水が流されるようになり、ヘドロや泡にまみれて腐臭の酷い川になってしまった。今では下水道が網羅されたためか、鯉が棲める程度の川になったものの、昔の川から比較すると、綺麗な川とは言えない。

(清掃活動に参加下さった流域(砂大橋・砂橋周辺)にお住まいの方から教えて頂きました。)

2011年度より継続している芝川の上流から下流までの調査

～少しずつ見えてきた生息生物の分布～

栄東高等学校 理科研究部
2年 今井旅生・齋木悠亮
1年 田中健太・広川周作・長澤啓太

お品書き

- § 1.はじめに
- § 2.芝川の水質の現状
- § 3.流域住民の方々との清掃活動
- § 4.芝川に生息している生物
- § 5.流域住民の方々へのアンケート
- § 6.まとめと今後の活動

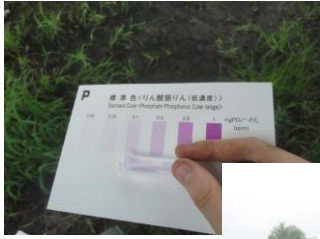
§ 1.はじめに



芝川のありがたみは？

§ 2.芝川の水質の現状

※今年度の水質調査は
2016年9月19日に実施



↑ 比色の様子

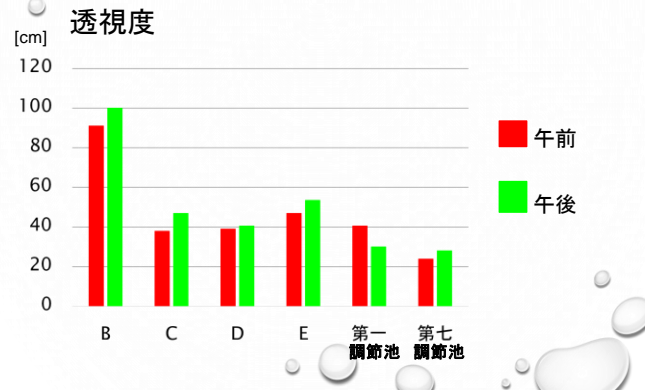
水を採取して
その場で測定
→



調査方法

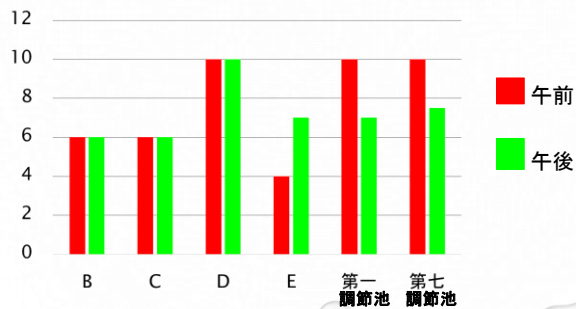
パックテストを使用

調査結果



調査結果

[ppm] COD(化学的酸素要求量)



水質調査結果の疑問点

- ・調整池やD地域でCODの値が高い
- ・B地域で透視度の値が非常に高い

➡ 疑問点を解決するため調査方法を考えながら今後も調査を継続していく

§ 3.流域住民の方々との清掃活動

調査方法



↑地域の方々と協力して掃除 (E地域)



↓本校の校庭にゴミを並べて種類や個数を集計

2016年12月11日実施

B地域の結果

・カン ペットボトル ビン ビニール袋 など

➡ **ポイ捨て**

・スポンジ 紙類 錠剤 ブラシ類 など

➡ **生活ゴミ**

・家電 畳 など

➡ **家具の不法投棄**

E地域の結果

・カン ペットボトル たばこ など

➡ **ポイ捨て**

・陶器 保冷剤 土鍋 など

➡ **生活ゴミ**

・自動車類 自転車・一輪車のタイヤ など

➡ **車両の乗り捨て、放棄**

ゴミの一例



↑集めた粗大ゴミ(B地域)

↓集めた大量のカン・ビン
(E地域)



ゴミ集計結果の考察

- ・**ポイ捨て**が多い
- ・**家具の不法投棄**がかなり行われている
- ・**車両の乗り捨て**もされている



芝川の重要性があまり知られていない



重要性を知ってもらう必要性

§ 4. 芝川に生息している生物

※写真は2016年10月15日に撮影したもの
(それ以外の場合には、写真に日付を記載)

調査器具

タモ網

手持ちの網
小さな生物を捕獲する
ときに有効



セル瓶

餌を中に入れて水
中に沈め、魚をおび
き寄せる



もんどり

セル瓶と使い方は同じ



調査方法



2016年10月15日実施 (道三橋)

芝川に棲む生物

テナガエビ



第七調節池(2014/10/18)

モツゴ



第七調節池(2014/10/18)

提供: 藤田宏之氏(埼玉県立川の博物館)

芝川に棲む生物

ハゼ類



第一調節池(2015/4/2)

ヌマチチブ



大宮境橋付近(2013/10/27)

提供: 藤田宏之氏(埼玉県立川の博物館)



芝川にもたくさんの生物がいる

しかし

外来種も定着している

芝川に棲む外来種

カダヤシ

(メダカに似ている)



砂大橋(2016/10/15)

アメリカザリガニ



道三橋(2016/10/15)

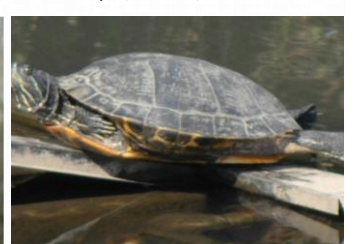
芝川に棲む外来種

ブルーギル



見沼大橋(2011/9/17)

アカミミガメ



大宮境橋(2014/10/18)

提供: 藤田宏之氏(埼玉県立川の博物館)

たくさんの外来種を捕獲

➡ 劣悪環境に強く、繁殖力旺盛な外来種が流域各所で定着

➡ ペット個体や購入・譲渡個体(カメ類・コイ・メダカなど)の放逐・放流の禁止を呼びかける必要がある

§ 5.流域住民の方々へのアンケート

調査・回収方法

アンケート用紙、資料を封筒に入れる

6地域(A.B.C.E.F.G)で各100世帯ずつ計600世帯に流域住民の方々へ手渡し

回答していただき、学校に郵送してもらう

回収・集計

2016年7～8月実施

回収率

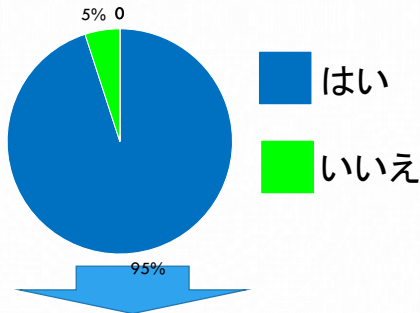
2012年に実施したアンケート調査の回収率

49%

2016年に実施したアンケート調査の回収率

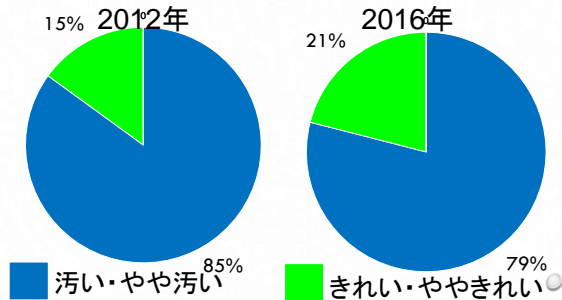
71%

質問: 近くの川の名前が芝川だと知っていましたか?



ほとんどの人が芝川のことを知っている

質問: あなたの芝川に対するイメージはなんですか?



➡ 芝川をきれいと感じる人が増加

質問:芝川に求めるものをお答えください。

- 1.護岸整備等の安全性
- 2.水に入って遊べるほどのきれいさ
- 3.普段の水量の豊富さ
- 4.生き物の多様性
- 5.地域の憩いの場
- 6.ゴミ等がなく緑豊かな景観の良さ

結果

2012年実施アンケート・2016年実施アンケートともに

選択肢6 → 最も多い

選択肢3 → 最も少ない

芝川に望むことは変わっていない！

§ 6.まとめと今後の活動

芝川の問題点

- ・水質があまり良いとは言えない
- ・外来種が多い
- ・ゴミが多い
- ・芝川の重要性があまり知られていない

今後の展望

芝川の環境を保護・改善するために、、、

- ・ゴミのポイ捨て・不法投棄
- ・ペット個体や購入・譲渡個体の放逐・放流

これらを芝川の重要性を訴えることで
減らしていきたい

謝辞

藺田顕彦氏 (元 国土交通省中部地方整備局)
鈴木あや子氏 (日本エヌ・ユー・エス株式会社)
藤田宏之氏 (埼玉県立川の博物館)
吉富友恭氏 (東京学芸大学)

以上、ご指導を頂いてる共同研究者
芝川流域にお住まいの皆さま
栄東中学・高等学校(理科研究部)の卒業生
※今年度の調査は、
「平成28年度公益信託武蔵野銀行
みどりの基金 助成金」
を頂いて実現致しました。

【2】川のまるごと再生プロジェクト外、水辺再生 100 プロジェクト事業の報告

-県土整備部水辺再生課／埼玉県河川環境団体連絡協議会-

川の再生事業(川のふるさと再生プロジェクト・水辺再生100プラン)
「川の国埼玉」をめざして
 平成29年2月4日
 水辺再生誌

御油川 (とまびわ町) 御油川: 石中洲 (幸手町)
 入間川 (鳩ヶ谷) 朝川 (川越市)
 荒川 (長瀬町) 大宮合神橋川 (春日部市)

埼玉県の河川

利根川水系	62河川
荒川水系	98河川
計	160河川

埼玉県が持つ「川のポテンシャル」①

埼玉県には川についての日本一が2つあります

①川の幅 **2500m**
 ②県の面積に占める水面の面積 **3.9%**

埼玉県が持つ「川のポテンシャル」②

ひとつめの日本一
荒川の川幅が日本一
 (吉見町と鴻巣市の間)

埼玉県が持つ「川のポテンシャル」③

ふたつめの日本一
 河川・水面等 **5%**
 県の面積に占める水面の面積割合 5% (全国第4位)
 河川面積の割合は **3.9%** (日本一)

森林	32%
農用地	23%
宅地	19%
その他	13%
道路	8%

川の再生の基本方針 (H19策定)

埼玉県では、県民のみなさんが
川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる
「川の国 埼玉」の実現を目指しています。

川の再生の4つのポイント (安らぎと賑わいの創出)

ポイント1 自然や親水機能の保全・創出

- 多自然川づくり
- 親水機能を持った護岸や遊歩道の整備



柳瀬川 (所沢市)



柳川 (東秩父村)

ポイント2 水辺の魅力創出・発信

- 地域イベントに合わせた護岸の整備
- 川を活用したイベントの開催



新河岸川 (川越市)



忍川 (行田市)

川の再生の4つのポイント (清流の復活)

ポイント3 水環境の改善 (水質・水量)

主に都市地域


公共下水道への接続

主に郊外地域


単独浄化槽から
⇒合併処理浄化槽への転換

ポイント4 川の浄化ムーブメント

- 河川愛護委員会や出前講座の開催
- 川の国境接点など地域住民による活動



出前講座



植樹活動

川の再生の取組

清流の復活 **安らぎと賑わいの空間創出**

川の再生

県民誰もが川と豊か暮らし、
ふるさと親玉を愛護できる

『川の国境玉』を実現する

平成20～23年度 水辺再生100プラン

- ・川の再生のリーディング事業として集中推進
- ・4年間で100か所を再生

平成24～27年度 川のまるごと再生プロジェクト

- ・「川」から「暮らし」への再生へと「街」のまちづくりと一歩
- ・17の川で取組を推進

代表モデル5か所 (芝川、新右衛門川など)

- ・2年間で一気に整備
- ・芝川での取組がテレビ放映

確かに変わった川の姿を実感

水辺再生100プラン実施箇所

4年間で県内100箇所の水辺を再生



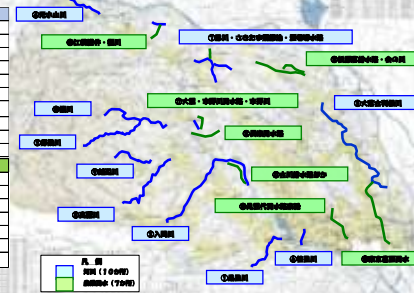
拡大図

※NO.9

川のまるごと再生実施箇所

4年間で県内17河川の水辺を再生

河川	実施河川	実施箇所
1024	1 荒川	赤松、赤松川
	2 入間川	赤松、赤松川
	3 利根川	赤松、赤松川
	4 利根川	赤松、赤松川
	5 大井川	赤松、赤松川
	6 荒川	赤松、赤松川
	7 荒川	赤松、赤松川
	8 荒川	赤松、赤松川
	9 荒川	赤松、赤松川
	10 荒川	赤松、赤松川
1025	1 荒川	赤松、赤松川
	2 荒川	赤松、赤松川
	3 荒川	赤松、赤松川
	4 荒川	赤松、赤松川
	5 荒川	赤松、赤松川
	6 荒川	赤松、赤松川
	7 荒川	赤松、赤松川
1026	1 荒川	赤松、赤松川
	2 荒川	赤松、赤松川
	3 荒川	赤松、赤松川



凡例
● 再生箇所 (100箇所)
● 再生箇所 (17箇所)

川の再生の成果 (安らぎと賑わい空間)

水辺の拠点

人がかたどるつらみ、ぬくもり 104か所

県内各地で開催される地域の賑わい川遊びイベントなどで活用



川遊びイベント

遊歩道

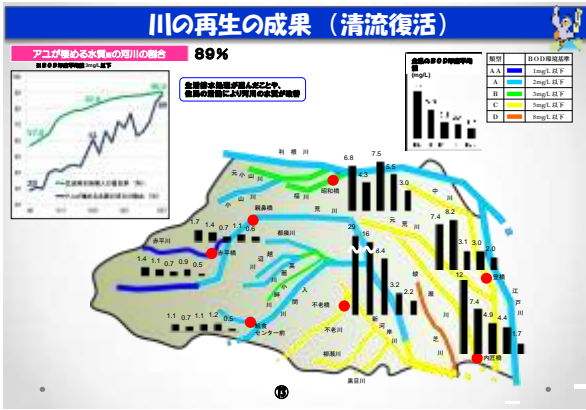
水辺の拠点をつらみ、ぬくもり 150kmを整備

水辺の拠点の遊歩道整備 17の川で計80kmを整備

川遊びを歩みやすく快適性が向上



遊歩道



特定非営利活動法人
荒川の自然を守る会



首都圏の生物多様性の拠点 堤防と都市林

1991年 荒川の自然を守る会の設立
こどもの頃楽しんだ自然を子ども達にも
楽しんでもらいたいと思いました



荒川の河川敷の広さ 日本一

広い空



三ツ又沼ビオトープ葦原



「河川敷の環境の重視を」

○荒川は多様な生物の宝庫

生物多様性に富んだ自然がある

都市林も支流も荒川の源流

○堤防は首都圏の大草原

◎荒川の自然は 将来世代の財産

生物多様性国家戦略
生物多様性基本法



三又沼
ビオトープの運営組織



自然ってなに 生態系

三つ又の自然と外来生物
 アレチウリ
 オオブラクサ
 セイタカアワダチソウ
 セイバンモロコシ
 アメリカザリガニ
 フラックバス
 ミシシッピーアカミミガメ(ミドリガメ)
 アライグマ

日本の在来生物により
 成立している日本の自然
 ↓
 生態系ピラミットの崩壊
 = 生物多様性の喪失
 ↓
 食料 薬品 産業原料 水 空
 質 . . .



生態系サービス

- **供給サービス**: 淡水や食糧、燃料、医薬品原料など一次原材料の供給を行う
- **調整サービス**: 気候変動、大気、水などの状態を調整し安定させる
- **文化サービス**: 審美的、感情的、精神的充足やレクリエーションの提供、新たな科学的発見を生み出すアイデアの提供(生体工学)など多岐に渡る文化面でのサービス
- **基盤サービス**: 光合成による食糧、養分循環や土壌の肥沃土の維持など付加価値の創造や人間の生産活動を支える

荒川の自然を守る会

活動の内容と問題点

○活動

- ・多様な日本の自然を将来世代に伝える。
- ・自然の楽しさの伝承 必要性の啓もう

○問題点

- ・生物多様性が失われている。
- ・外来生物の増加 人為的 盗掘
- ・自然保全には人手が必要
 学校教育 地域住民への啓もうと参加 企業との連携
- ・国、埼玉県、流域の行政との連携

活動

- ・多様な日本の自然を将来世代に伝える
- ・自然の楽しさの伝承 必要性の啓もう

三つ又沼ピ オトープの 活動



いろいろな方々の協力
 ・武蔵野銀行の方たち
 ・上尾ライオンズクラブ
 ・上尾ライオネスクラブ
 など

管理作業の成果
 竹林がキツネノカミソリ群落に



三ツ又沼ピ オトープの 活動



- 春の観察会
- カテンソウの開花
小学生「じゅうたんみたい」



親子自然塾三つ又



自然は楽しいよ

親子自然塾 草木染教室

(夏休みの自由研究)

自然は使える



問題点

- 生物多様性が失われている。
- 外来生物の増加 人為的破壊 盗掘
- 自然保全には人手が必要
学校教育 地域住民への啓もうと参加
企業との連携
- 国、埼玉県、流域の行政と住民との連携

外来動物たち

アライグマ ミシシッピーアカミミガメ.....

農業被害も甚大

流域全体で駆除する必要性 退治すると隣へ移動



日本の在来種は



日本らしい自然を守り残す活動



外来植物の連鎖

4月ナノハナ 9月オオブタクサ



春から秋の
セイバンモロコシ

ミツ又沼ビオトープの活動



外来植物や栽培種が日本の在来野草の生息地を奪います
在来野草の保護のために除草をしています

自然保護？ なぜ 植えるのですか
河川は花壇ではありません



アマナの日照を奪うヒガンバナ





日本の
野草

なでしこプロジェクト

北千住ルミネ
2013. 10



根本正之先生（元農大教授）
提唱

荒川流域を葉の花が咲く環境に

国との協同

荒川・入間川堤防の改修と野草

生物多様性を考慮した河川工事について荒川
上流河川事務所と市民団体の定期的な協議



生物多様性基本法の基本原則



生物多様性の保全及び持続
可能な利用

科学的知見の充実努力と予防的取り組み
方法及び監視と科学的評価を反映する
順応的取り組み方法による対応を旨
とする

堤防工事でミテゲーション

・ 絶滅危惧種の移植

国土交通省荒川上流河川事務
所に協力
アマナの球根を掘り横堤に移
植

・ 表土の貼り付け



自然の消費

昔のように自然がたくさんはない
自然を楽しむためには
自然を守ることは大切



子孫の自然財産を守るのか 現代人が自然を消費するのか



・太郎右衛門自然再生地に溜まっている産業廃棄物 牛糞
・自然に配慮した農業は多様な生物をはぐくむ



・ゴルフ場 グラウンド 除草剤・
・影響はやがては下流へ



大村先生発見のような未知の自然財産を現代人が壊してよいのか

課題

・生物多様性の保護・拡大

外来種生物の問題

河川は首都圏にとって貴重な自然地

将来世代の財産という市民・行政の合意を

・活動の担い手の育成

生物多様性への理解と保全方法周知のための組織確立を

・行政と市民の協力

上記のために埼玉県 流域市町村の主体的な参加と県民の協働が欠かせない。

メモ

川の国埼玉宣言

(左手を腰に、右手を構えてスタンバイ！)

代表者 「きれいな川を次世代へ 川の国」

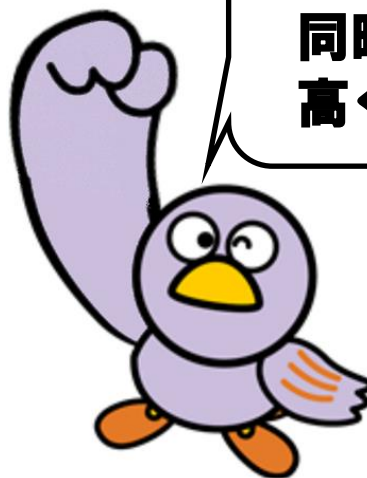
全員 「埼玉！」

代表者 「川の国」

全員 「埼玉！」

代表者 「川の国」

全員 「埼玉！」



「埼玉！」で
同時に右手を
高く上げてね